

■ 「防災士」養成に向け学内で初の講座開催

広島工業大学

2020年9月に設立した地域防災減災教育研究推進センターが、初の防災士養成講座を学内で開いた。防災士資格取得試験に合格した35人は救急救命講習を受け、防災士の資格が与えられる。学生38人が3日間、11人の講師から自然災害の原因や事前の備えなどをしっかりと学んだ。環境学部地球環境学科の田中健路教授は、台風の勢力を天気図から解説するための注意点などを講義—写真。大学周辺のハザードマップを作成するワークショップも指導した。学生たちは最終日に資格取得試験に挑んだ。防災士はNPO法人「日本防災士機構」による民間資格。平常時の防災活動や災害時の避難所運営などのリーダー役を担う。センターは広島県内全域に防災意識を浸透させるため定期的に養成講座を開く計画だ。

